

2007 年度大学入試センター試験 解説〈数学 I A〉

第 1 問

〔1〕

(1) $x < \frac{5}{3}$ すなわち $3x - 5 < 0$ のとき

$$|3x - 5| = -(3x - 5)$$

よって

$$2(x - 2)^2 = -(3x - 5)$$

$$2x^2 - 5x + 3 = 0$$

$$(x - 1)(2x - 3) = 0$$

したがって

$$\underline{\underline{x = 1, \frac{3}{2}}}$$

……ア, イウ

(ともに $x < \frac{5}{3}$ をみたま)

(2) $\frac{5}{3} \leq x$ のとき $|3x - 5| = 3x - 5$

よって

$$2(x - 2)^2 = 3x - 5$$

$$2x^2 - 11x + 13 = 0$$

解の公式より

$$x = \frac{11 \pm \sqrt{121 - 104}}{4} = \frac{11 \pm \sqrt{17}}{4}$$

よって (1) の結果と合わせて解は 4 個

……エ

また, $\alpha = \frac{1}{4}(11 + \sqrt{17})$ であり

$$\frac{1}{4}(11 + 4) < \frac{1}{4}(11 + \sqrt{17}) < \frac{1}{4}(11 + 5)$$

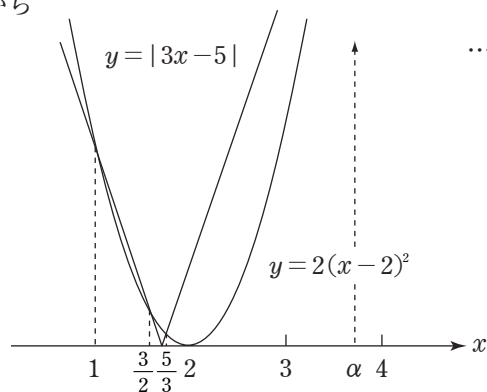
すなわち $\frac{15}{4} < \alpha < 4$

よって $3 \leq \alpha < 3 + 1$ が成り立つから

$$\underline{\underline{m = 3}}$$

である.

……オ



[2]

(1) A の要素は 10 の倍数(自然数)だから, 2 で割り切れる.
 逆に 2 で割り切れる数は必ずしも 10 の倍数ではない.
 よって, A は十分条件であるが必要条件ではないから② ……カ
 次に,

B の要素は 4 の倍数であり, 20 で割り切れるとは限らない.
 逆に 20 で割り切れる数は 4 で割り切れる.

よって, B は必要条件であるが十分条件ではないから① ……キ

(2) C は, (10 で割り切れる数)かつ(4 で割り切れる数)の集合なので

$$C = A \cap B \quad \dots\dots④ \quad \dots\dotsク$$

また, 「10 で割り切れるかまたは 4 で割り切れる」の否定は「10 でも 4 でも割り切れない」であるから D は,

$$D = \overline{A \cap B} = \overline{A} \cup \overline{B} \quad \dots\dots③ \quad \dots\dotsケ$$

E の否定 \overline{E} は 20 で割り切れる数の集合

また, 4 と 10 の最小公倍数が 20 だから \overline{E} は 4 でも 10 でも割り切れる数の集合.
 したがって

$$\overline{E} = A \cap B$$

$$\overline{E} \text{ の否定 } \overline{\overline{E}} = E \text{ より } E = \overline{A \cap B}$$

よって

$$E = \overline{A \cap B} \quad \dots\dots⑦ \quad \dots\dotsコ$$

第 2 問

$$(1) \quad y = x^2 - 2(a-1)x + 2a^2 - 8a + 4 \\ = \{x - (a-1)\}^2 + a^2 - 6a + 3$$

の式変形により, 頂点の座標は

$$(a-1, a^2 - 6a + 3) \quad \dots\dotsアイウ$$

である. グラフ G は下に凸の放物線だから, x 軸と異なる 2 点で交わるのは, 頂点の y 座標が負のときである. すなわち

$$a^2 - 6a + 3 < 0$$

$$a^2 - 6a + 3 = 0 \text{ の解は } a = 3 \pm \sqrt{6} \text{ なので}$$

$$\underline{3 - \sqrt{6} < a < 3 + \sqrt{6}} \quad \dots\dots② \quad \dots\dotsエオ$$

G と x 軸との交点が 2 つとも負になるのは, 次図より, 条件②に加えて

$$G \text{ の軸が } y \text{ 軸より左側にある: } a - 1 < 0 \quad \dots\dots③$$

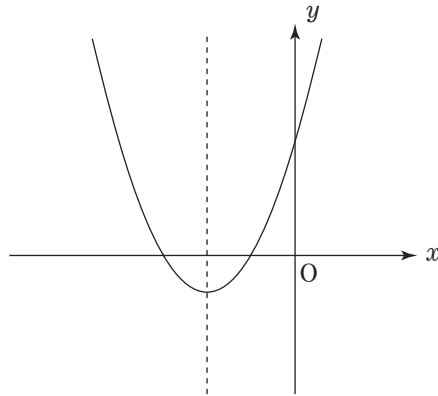
かつ

$$y \text{ 切片が正: } 2a^2 - 8a + 4 > 0 \quad \dots\dots④$$

$$④ \text{ の解は } a < 2 - \sqrt{2}, 2 + \sqrt{2} < a$$

②③④より, 求める範囲は

$$\underline{3 - \sqrt{6} < a < 2 - \sqrt{2}} \quad \dots\dotsカキクケ$$



(2) $3 \leq a-1 \leq 7$ より, a の範囲は

$$\underline{4 \leq a \leq 8}$$

……コサ

$3 \leq x \leq 7$ においては G の軸 $x = a - 1$ が含まれるので最大値について, 次の (ア), (イ) の場合を考えると,

(ア) 放物線の軸が次図のような位置にあれば, すなわち $3 \leq a - 1 \leq 5$ であれば, G は

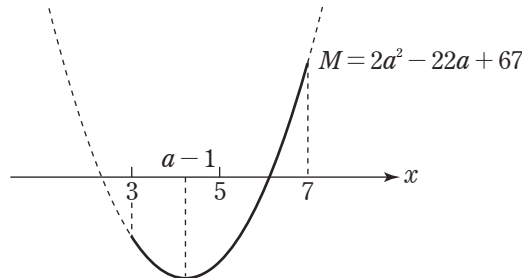
$x = 7$ で最大となる. よって

$$\underline{4 \leq a \leq 6} \text{ のとき}$$

……シ

$$\underline{M = 2a^2 - 22a + 67}$$

……ス～チ



(イ) 放物線の軸が次図のような位置にあれば, すなわち $5 \leq a - 1 \leq 7$ のときは G は

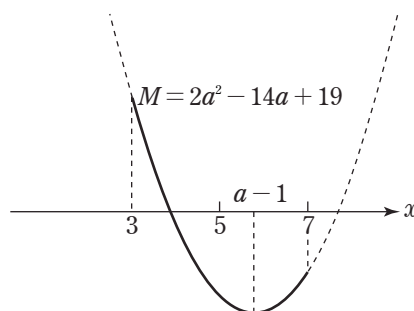
$x = 3$ で最大となる.

よって

$$\underline{6 \leq a \leq 8} \text{ のとき}$$

$$\underline{M = 2a^2 - 14a + 19}$$

……ツ～ニ



次に

最小値 $a^2 - 6a + 3 = 6$ ならば

$$a^2 - 6a - 3 = 0$$

よって

$$a = 3 \pm 2\sqrt{3}$$

$4 \leq a \leq 8$ より $a = \underline{3 + 2\sqrt{3}}$

……ヌネノ

$6 < 3 + 2\sqrt{3} < 8$ であるから、最大値は(イ)の場合を考えて、

$$M = 2a^2 - 14a + 19$$

$a^2 = 6a + 3$ を用いて

$$M = 2(6a + 3) - 14a + 19$$

$$= -2a + 25$$

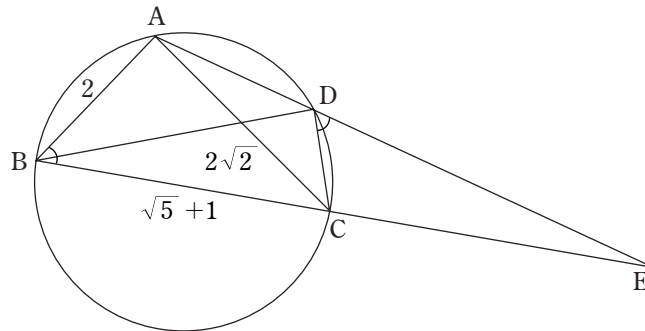
$$= -2(3 + 2\sqrt{3}) + 25$$

$$= \underline{19 - 4\sqrt{3}}$$

……ハヒフヘ

である。

第3問



(1) 余弦定理より

$$\begin{aligned} \cos \angle ABC &= \frac{AB^2 + BC^2 - CA^2}{2AB \cdot BC} \\ &= \frac{4 + (6 + 2\sqrt{5}) - 8}{4(\sqrt{5} + 1)} \\ &= \frac{2(\sqrt{5} + 1)}{4(\sqrt{5} + 1)} = \frac{1}{2} \end{aligned}$$

よって、 $\angle ABC = \underline{60^\circ}$

……アイ

外接円の半径を R とすれば、正弦定理より

$$\frac{CA}{\sin \angle ABC} = 2R \quad \text{よって} \quad R = 2\sqrt{2} \times \frac{2}{\sqrt{3}} \times \frac{1}{2}$$

$$R = \frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{3}} = \underline{\underline{\frac{2}{3}\sqrt{6}}}$$

……ウエオ

(2) 円に内接する四角形の性質から

$$\angle BAD + \angle BCD = \underline{180^\circ}$$

……カキク

よって、 $\sin \angle BAD = \sin(180^\circ - \angle BCD)$

$$= \sin \angle BCD$$

この関係を利用すると

$$\begin{cases} S_1 = \frac{1}{2} AB \cdot AD \sin \angle BAD = \frac{1}{2} \cdot 2AD \sin \angle BAD \\ S_2 = \frac{1}{2} CB \cdot CD \sin \angle BCD = \frac{1}{2} (\sqrt{5} + 1) \cdot CD \sin \angle BAD \end{cases}$$

これらと①より

$$\frac{S_1}{S_2} = \frac{2}{\sqrt{5} + 1} \cdot \frac{AD}{CD} = \sqrt{5} - 1$$

$$2AD = (\sqrt{5} - 1)(\sqrt{5} + 1)CD = 4CD$$

よって

$$CD = \frac{1}{2} AD$$

……ケコ

また、 $\angle ADC = 120^\circ$ だから

$CD = x$, $AD = 2x$ とおくと

$$(2\sqrt{2})^2 = (2x)^2 + x^2 - 2 \cdot 2x^2 \cos 120^\circ$$

$$8 = 4x^2 + x^2 + 2x^2 = 7x^2 \quad \left(\cos 120^\circ = -\frac{1}{2} \right)$$

$$x^2 = \frac{8}{7} \quad \text{より} \quad x = \frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{7}} = \frac{2}{7}\sqrt{14}$$

……サシスセ

次に、 $\angle ABC = \angle CDE = 60^\circ$, $\angle E$ は共通 より

$$\triangle ABE \sim \triangle CDE$$

相似比は

$$AB : CD = 2 : \frac{2}{7}\sqrt{14} = 7 : \sqrt{14}$$

したがって面積比は

$$S_3 : S_4 = 7^2 : (\sqrt{14})^2 = 7 : 2$$

$$\text{よって, } \frac{S_3}{S_4} = \frac{7}{2}$$

……ソタ

ここで、 $S_3 = 7S$ とおくと $S_4 = 2S$

$$S_1 + S_2 + S_4 = S_3 \text{ より}$$

$$S_1 + S_2 = 7S - 2S = 5S$$

$$\text{①より, } S_1 = (\sqrt{5} - 1)S_2$$

よって

$$(\sqrt{5} - 1)S_2 + S_2 = \sqrt{5}S_2 = 5S \quad \text{より} \quad S_2 = \sqrt{5}S$$

$$\text{したがって, } \frac{S_2}{S_4} = \frac{\sqrt{5}}{2}$$

……チツ

第4問

(1) ちょうど1周してAにとまるのは、3回の試行で出た目の数の組が(1, 1, 4),

(1, 2, 3), (2, 2, 2)となるときである.

(1, 1, 4)となるのは3通り, (1, 2, 3)となるのは $3! = 6$ (通り),

(2, 2, 2)となるのは1通りである.

よって, 10通り

……アイ

1回もAにとまらないのは、1回投げるごとにA以外に進む5通りずつある.

よって, $5^3 = 125$ 通り

……ウエオ

(2) 3回ともAにとまるには3回6の目が出る必要があるで、その確率は

$$\left(\frac{1}{6}\right)^3 = \frac{1}{216}$$

……カキクケ

3回中、2回Aにとまる確率は毎回Aに進む確率が $\frac{1}{6}$ 、Aにとまらない確率が $\frac{5}{6}$ で

あるから

$${}_3C_2 \left(\frac{1}{6}\right)^2 \cdot \left(\frac{5}{6}\right) = \frac{5}{72}$$

……コサシ

上と同様にAに1回だけとまる確率は

$${}_3C_1 \left(\frac{1}{6}\right) \cdot \left(\frac{5}{6}\right)^2 = \frac{25}{72}$$

……スセソタ

(3) Aにとまる回数の期待値は(2)の確率の計算結果から

$$3 \times \frac{1}{216} + 2 \times \frac{5}{72} + 1 \times \frac{25}{72}$$

$$= \frac{1}{216} (3 + 30 + 75)$$

$$= \frac{108}{216}$$

$$= \frac{1}{2}$$

……チツ

である.